



ふかや 市議会だより

No.30
2013.5.1



3月定例会

川本公民館
ふるさと子どもまつり
(裏表紙参照)

新年度予算決まる！ 2～4

平成24年度 補正予算 5

市政のここが聞きたい 6～13

議員全員協議会など 14～15

ボランティアさん紹介 16



とおかanya
十日夜のわらでっぼうづくり

発行／深谷市議会 編集／ふかや市議会だより編集委員会 〒366-8501 埼玉県深谷市仲町11番1号 深谷市議会事務局

インターネットによる生中継及び録画中継もご覧いただけます。
また、市役所本庁舎1階市民ホールでも会議テレビ中継をご覧いただけます。

新年度予算決まる!!

平成25年第1回定例会は3月1日に開会し、3月25日までの25日間の日程で開かれました。今議会では、新年度予算9件、条例の制定6件、条例の一部改正11件、補正予算7件、人事案件5件、そのほか11件の計49議案が市長から提出されました。また、議員提出議案3件を審議しました。

▶ 総額約482億円 (一般会計) ◀



道路予算増額!!

民生費 (社会保障)

家庭保育室等補助金 1493万円

家庭保育室保育料補助金で新たに補助対象となつたところは。

待機児童対策として0歳から2歳の家庭保育室に入室するすべての人に、認可保育園と同等の保護者負担となるよう所得に応じて保育料を軽減させる仕組みの補助金とした。

対象になる保育園は、また、期限はあるのか。

市が指定する家庭保育室7施設が対象となる。補助金は、平成25年度から2か年の期限付きである。

交付方法は、現物給付の方式としていく。保護者は、軽減された

保育料を、保育室に支払う。子ども・子育て支援事業 約109万円

事業内容は、子ども・子育て会議の開催と子ども・子育て支援事業計画の策定。事業費は、会議の委員報酬である。

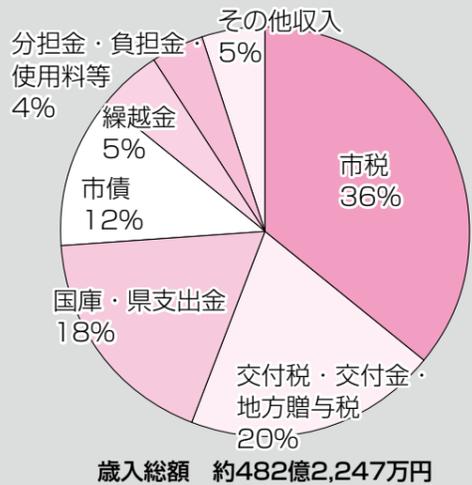
障害者医療費給付事業 2億7195万円

更生医療費の傾向とこれ以外の給付は。

更生医療の公費負担分は年々増加傾向にあり、今後も増加していくと思われる。また、育成医療の事務が権限移譲で県から市町村に移り、これまでなかった市負担が増える。

育成医療の予算額は、平成23年度に県で認め

平成25年度 一般会計予算 歳入



定した56件を基礎として786万円を計上した。

ふっかちゃん福祉事業 約349万円

この事業の内、療育経費の助成とあるが。

ふっかちゃん子ども福祉基金を活用した事業で、障害児が療育を受けるときに係る経費の個人負担分の2分の1を補助するものである(月額5千円を上限)。

高齢者等見守り活動事業 404万円

事業内容は、また、どの団体に補助するのか。

ひとり暮らしの高齢者

総務

本年度予算単年度収支及び財政健全性の観点から

特徴として総額予算が

昨年度と比べ約30億円増、起債が例年約40億円に対し57億円と大きい。従って、健全性が担保されているか不安である。地方交付税は昨年度65億円、本年度74億円。増額理由を確認したい。

合併特例債の元利償還金の参入分等の需要額の増加要因が多いことから増額と見込んだ。

単年度収支は過去3年黒字。今年度も黒字化を図るマネージメント能力が問われる。収支見込みは。

単年度収支については重要な指標。黒字化に向けて鋭意努力していく。

公共施設在り方検討事業 約459万円

市民会議の構成は。

市議会議員3名、市民公募2名、大学教授1名、自治会代表者12名、公共的

団体代表者7名を予定。

防災施設整備維持事業 約5150万円

新規避難場所に看板を設置するところがあるが、新たに指定された箇所は。

新設の花園公民館体育室、旧埼玉県総合教育センター深谷支所、グリーンパーク・パティオ、くれよん館、幡羅ふれあい館、福寿荘、東都医療大学の7か所。

防災機能強化事業 約427万円

自主防災組織活動支援として地域防災指導員の施設とあるが。

地域防災指導員としての人材活用と自主防災組織の拡充が目的。初めての取り組みで消防職員OB1名を配置。状況に応じ増員を図る予定。

情報発信事業 約654万円

予算増額の理由は。

ホームページのリニューアルを予定している。

18万円を予定している。

協働まちづくり推進事業 約18万円

昨年度の検証は。諸課題6テーマについて4件の市民提案があった。予算化には至らなかったが趣旨等は2件採用予定。

市民審査員の決定は。応募者4名。審査の結果4名を審査員と内定。

本年度同様のスキームなのか。

25年度は仕切り直し。制度の改善に取り組み。

まちづくり振興基金 約2561万円

本年度の活用事業は。

ガーデンシティ推進事業・緑の王国建設事業・コミュニティバス等である。



緑の王国

平成25年度一般会計予算について反対討論あり
補助金の削減や保育園の民営化など市民サービスを大きく後退させる一方、企業誘致には熱心である。地域経済を良くするためには、地域産業の育成をはかることで雇用と消費を伸ばす地域振興策に転換すべきである。

3月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案名	議員名																審議結果	
	会派名	深谷	和	会	公明党	深谷	志民	共産	彩	新	無	石川	村川	田嶋	田嶋	田嶋		
一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国清寺土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
岡中央土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小前田北西部土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※会派名は、深谷は深谷クラブ、志民は深谷志民の会、共産は日本共産党、彩新は彩新連合、無は無所属です。
※議長は同数のみ採決に参加します(○は賛成、×は反対、欠は欠席)

「議案あれこれ」議案について開かれるの?」...市議会には3月、6月、9月、12月に開催される定例会と必要に応じて開かれる臨時会があります。

「議会あれこれ」補正予算ってなに?」...年度途中における災害の発生、法改正などに対応するため、当初予算額を増額または減額する予算のことです。

平成24年度一般会計補正予算(5号)

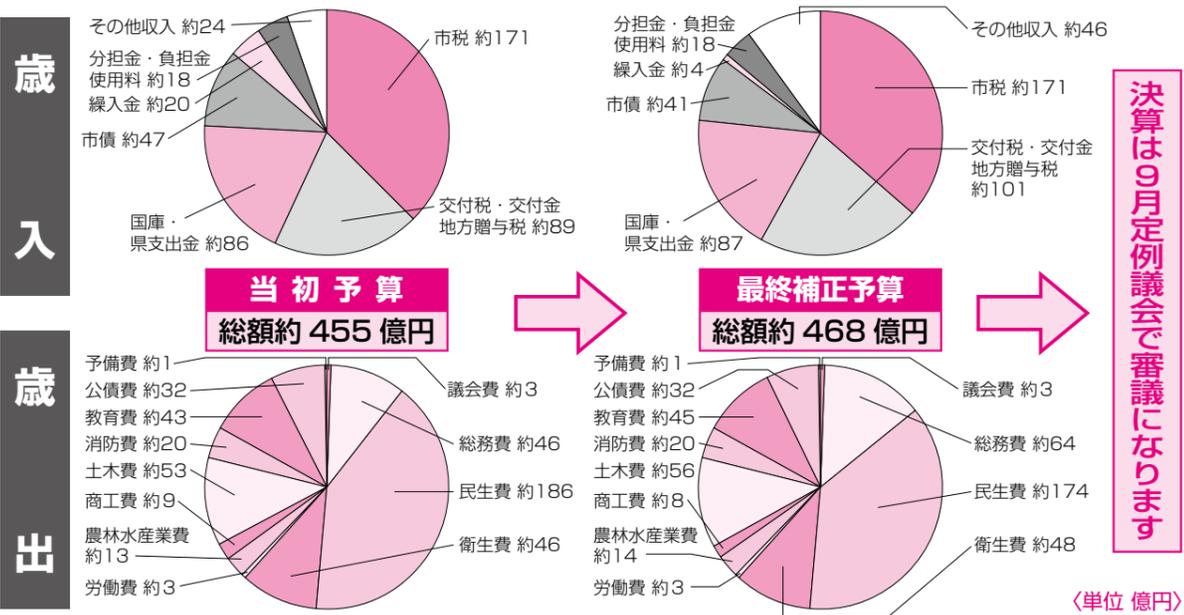
◆◆◆ 予算はどのように推移してきました ◆◆◆

一般会計当初予算は昨年の3月議会で採決され、総額約454億6700万円の規模で執行されました。年度を通じて9月議会で第1次補正が採決され、続く12月議会で第2次、第3次補正予算、今回の3月議会で第4次、第5次の補正予算が可決しています。第5次補正予算時点の規模は約468億1,600万円です。

財政調整基金の取り崩し 約16億円(当初予算) ▶ 0円(最終補正)	0円(最終補正)
財政調整基金の積み立て 0円(当初予算) ▶ 約17億円(最終補正)	約17億円(最終補正)
起債発行額(新規の借金) 約47億円(当初予算) ▶ 約41億円(最終補正)	約41億円(最終補正)
地方交付税 65億円(当初予算) ▶ 約77億円(最終補正)	約77億円(最終補正)

今年も単年度黒字か?
平成24年度予算
 24年度予算の全体的な資金繰りについて聞く。特に財政調整基金(市の積み立て)については年度を通して、取り崩しより、積み立てが進んだように見える。その額はどのくらいなのか。
答 財政調整基金だが、23年度末の残高は約56億6千万円だった。24年度当初予算において約16億円の取り崩しを計上したが、9月議会補正ですべて基金に戻すことができた。さらに、ここまでの補正審議において、約17億円の新たな積み立てができています。現時点で、24年度末の基金残高見込み額は約73億8千万円となっている。

平成24年度一般会計の予算推移



決算は9月定例議会で審議になります

〈単位 億円〉

◆3月定例会 議案に対する各議員の賛否◆

議案名	議員名														審議結果											
	為谷剛	小森秀夫	柴崎重雄	吉田幸太郎	馬場茂	清水健一	倉上由朗	新井清	松本政義	須藤邦男	中矢寿子	五間くみ子	三田部恒明	武井伸一		永田勝彦	高田博之	加藤温子	加藤利江	清水修	清水睦	田嶋信吉	田嶋徳浩	村川均	石川克正	
一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国済寺土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡中央土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小前田北西部土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度深谷市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※会派名は、深クは深谷クラブ、志民は深谷志民の会、共産は日本共産党、彩新は彩新連合、無は無所属です。
 ※議長は同数のみ採決に参加します(○は賛成、×は反対、欠は欠席)

農業・商工(産業)

特産物PR事業 約1885万円

問 この事業のうちFトラックスとは。
答 全面にラッピングが施されている4メートルトラックで荷台がガルウイングになっている。物を運ぶだけではなく、走る広告塔として深谷市をPRし、その場でステージイベントが出来る等マルチに活用できる。
問 貸出し、年間利用時間について。
答 貸し出し基準を設け、市のPRにつながるような利用目的に関しては、積極的に貸し出しをし365日活用を目指す。

中心市街地 商業活性化推進事業 2205万円

問 コミュニティガーデン設置の具体的な内容は。
答 目的は街に人を集めることであり、本町商店街の

駐車場に常時イベント可能なパビリオンとしてコンテナを5台設置する。

問 コンテナの管理、利用時間。
答 管理はNPOへの委託を想定しているが、まだ検討段階である。利用時間は民間への貸出等も考え、今後検討していきたい。

Fトラック

教育

ふっかちゃん i(愛)サポート 約220万円

問 ふっかちゃん基金を活用して立ち上げた経緯は。また、各教室の整備台数は。
答 国の調査により、特別支援学校でiPad(アイパッド)アプリを使つての指導が、コミュニケーションを図れない子や表現がでない子に有効なことがわかり、きこえとことばの教育

不登校対策 約1537万円

問 不登校対策事業について具体的な内容は。
答 学校相談員を各学校に配置し、対策を行っている。平成23年度は、県の委嘱を受け川本中学校区で、不登校対策事業を行った。小中学校の教員が相互に連携し、授業を行ったりQRUTテスト(学級診断調査)を行い、クラスの中での子どもの状況を把握している。

問 いじめが原因の不登校はあるか。
答 直接的な原因となる不登校はない。

iPad (アイパッド)

土木

太陽光発電システム 設置費補助事業 2400万円

問 平成22年度から平成24年度までは上限12万円であった補助額が1基当たり8万円と減額したのか。
答 近年、設備についても相当、金額が下がってきている面もある。限られた予算の中でより多くの方に補助金を交付したいことから減額とした。

北通り線整備事業 1億5281万円

問 用地買収と建物移転の内訳は。
答 用地買収では、96.1%まで達成をしている。残りの面積は、1159平方メートルになっている。建物の移転に関しては、2軒であり、これらの対象者は4人である。

道路新設改良事業 約8億1000万円

問 今年度は非常に予算が増えている。平成25年度に限らずこれからも、続けていくのか?
答 道路新設については、全ての要望に答えられないが、毎年数多くの要望が各自治会から寄せられている。今後も限られた予算の中で一つでも多く実施していきたい。

平成25年度 一般会計予算 歳出

歳出総額 約482億2,247万円

- 民生費 40%
- 衛生費 11%
- 労働費 3%
- 農林水産業費 3%
- 商工費 2%
- 土木費 12%
- 消防費 4%
- 教育費 10%
- 公債費 7%
- 総務費 10%
- 議会費 1%

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

市政のここが聞きたい

質問項目一覧

- 吉田幸太郎
 - ①深谷市の財政状況は
 - ②深谷市の地域医療
 - ③児童虐待への対応
- 加藤 利江
 - ①深谷市の現状と今後の可能性について聞きたい
 - ②公民館について
- 清水 健一
 - ①公共下水道事業について
 - ②子どもの笑顔があふれる子育て応援のまち「ふかや」について
 - ③緊急経済対策について
- 馬場 茂
 - ①後期基本計画より
 - ②深谷シティハーフマラソンについて
 - ③都市計画道路原郷上野台線について
 - ④火災予防について
- 柴崎 重雄
 - ①防災対策
- 交通安全対策
 - ③原郷上野台線の立体交差
- 武井 伸一
 - ①花フェスタについて
 - ②生活道路について
 - ③排水路について
- 清水 睦
 - ①産業振興について
 - ②砂ぼこり対策について
 - ③保育料について
- 永田 勝彦
 - ①TPP（環太平洋経済連携協定）交渉参加
 - ②土地改良区への支援
 - ③深谷市庁舎建設喫緊重要課題
 - ④北方四島・竹島・尖閣諸島我国固有の領土
- 五間くみ子
 - ①AED普及促進を図る施策について
 - ②投票率向上に向けて
 - ③子ども子育て支援新制度について
- 加藤 温子
 - ①「法令解釈権が自治体に移った」
- 7月から地方公務員給与削減7.8%の要請深谷市での取り組み対応はかにか
 - ②市民の声
- 田島 信吉
 - ①施政方針等
- 清水 修
 - ①普通財産の貸し付けについて
 - ②学校給食の無料化について
 - ③平成25年度の補助金見直しについて
- 中矢 寿子
 - ①使用済小型家電リサイクル法の成立を受けて問う
 - ②空き地、空き家対策について
- 三田部恒明
 - ①平成24年度補正予算成立を受けて
 - ②通学路における緊急合同点検の取り組み
 - ③公文書管理法における公文書管理見直しについて
 - ④地域の防災力向上へ
 - ⑤自然エネルギー対策について
 - ⑥都市計画道路「西通り線」

Q

深谷市の現状と今後の可能性について

A

今後も、市内産業活性化のため、引き続き努力していく

加藤 利江

問 副市長を二人体制にしてまでも企業誘致に力を入れたが、現状と可能性は。

答 今後の可能性としては、平成25年度に4件、平成26年度には2件の誘致に向けて関係企業と調整中である。

問 小学校給食についてなぜ今センター方式を変えなければならないのか。

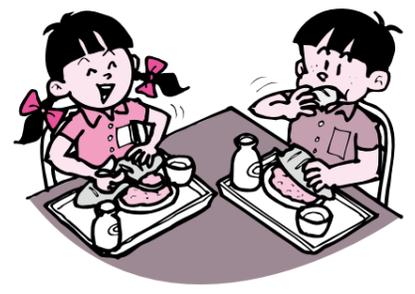
答 自校式給食場の建設については、今年度から設計業務に着手しており、今後も計画に基づき、順次整備を進めて参りたいと考えている。

問 六・三・三制について現在公立の中高一貫制の学校が増えていくが市の考え方は。

答 中高連絡協議会を設置するとともに、川本中学校区をモデル地区として指定し、小・中学校で一貫した教育を進める。

深谷市の経済状況について

地方税の歳入に占める割合が埼玉



Q

深谷市の救急医療体制は大丈夫か？

A

深谷赤十字病院の救命救急センターで受け入れている

吉田幸太郎

問 市では第三次救急医療体制の機能を発揮するために、どのような対応をしているのか。

答 埼玉県と市が協力し、埼玉医科大学に寄附講座を設置して、深谷赤十字病院へ医師を派遣している。また、市では財政支援も実施している。今後も県・県北関係市町・深谷赤十字病院と連携しながら、更なる整備・充実に努める。

問 深谷赤十字病院における「開業医による拠点病院支援事業」はどのようなものか。

答 県が実施主体である当事業は、小児2次救急を担う深谷赤十字病院では、導入されていない。今後は県に協力し、地区医師会・深谷赤十字病院・関係市町と導入にあたって連携していきたい。

深谷市の財政状況は？

問 現在、市の財政内容はどうなっているのか。健全な財政運営に向かうため、今後の方針をどう考えているのか。

答 社会保障関連経費等の増加が税収を上回り、厳しい状況が続いている。



深谷赤十字病院

Q

合併前市町の下水道料金の統一は？

A

今年度から見直しに向け進めて行く

清水 健一

問 受益者負担金徴収猶予基準や一括納付報奨金が合併前の市町でバラバラの状態だがどうなっているのか。

答 受益者負担金徴収猶予基準は統一したが一括納付報奨金は使用料などの見直しと一緒に今年度から検討している。

問 使用料の基本料金は、20立方メートルが基準とされ、10立方メートルしか使用しなくても基本料金は徴収されるが10立方メートル以下の世帯数は何軒あるのか。

答 3250軒が10立方メートル以下である。

問 約10年前のトイレは1回に13リットルの水が必要であったが、現在は4リットルで済むものもある。高齢者世帯への配慮を含め、基準を10立方メートルに下げた料金改定を提言する。

答 十分に配慮し検討していく。

保育園の待機児童への対策は？

問 待機児童は、どのくらい居るのか。

答 平成24年10月現在、公的待機児童25人、私的待機児童は129人である。



問 「子育てしやすい街ふかや」として、この問題にどう対応するのか。

答 家庭保育室に入室する児童への補助等を行い、解決に向け対応していく。

問 学童保育室の預かり時間延長は？

答 共稼ぎの家庭等を考えると午後6時まで迎えに行くのは忙しく、延ばして欲しいという意見も多く頂くが、学童保育指導員の確保が難しく、対応出来なかつたが、任用期間を特例で5年に延長することで、採用を増やし、勤務体系を見直しして対応していく。

一般質問の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。

一般質問記事の掲載は、通告順です。

Q

都市計画道路原郷上野台線の事業は今後どうするのか

A

現在の計画のとおり進めていく

馬場 茂

建設費48億円は、当初計画の約2倍の額であり高すぎる。また、建設期間も8年と長い。もう一度白紙に戻して考えるべきではないか。

答 平成23年3月にアンダーパスに都市計画の変更をし、地域住民にも周知している。現在の計画のとおり進めたい。

問 社会資本整備総合交付金を利用するとのことだが、どの程度を見込んでいるのか。

答 国は広域連携強化に資する道路整備や、橋梁の長寿命化計画に関する修繕等に重点配分しているため、市の都市計画道路への配分は厳しい状況が予想される。

福祉施設の防火対策は万全か

問 長崎市で5人が死亡した認知症グループホームの火災を受けて、他市では特別査察を実施しようだが、深谷市は実施したのか。また、その結果は。

答 管内182の福祉施設に対し、防火対策注意喚起通知文書を直接届けた。認知症グループホーム14施設中7施設で改善すべき点があり、消防設備



深谷シティハーフマラソン

等の改善報告書の提出を求め、早急に改修するよう指導した。

深谷シティハーフマラソン開催時期の変更はできないのか

問 今年の大会は強風と砂ぼこりの中の大会となった。砂ぼこりの少ない時期に変更はできないものか。

答 関係機関から意見を聞きながら、実行委員会で検討していく。

Q

原郷上野台線の立体交差の進捗状況を聞きたい

A

今年秋以降に近隣住民を対象に説明会を開催したい

柴崎 重雄

問 原郷上野台線の立体交差は昭和47年に都市計画決定された。その後、騒音・日照権・排ガス等の問題で平成15年、高架方式から地下方式へ変更となった。しかし、線路北側の国済寺区画整理事業との兼ね合いでかなり遅れた。平成24年、議員全員協議会で事業費48億円、工事期間が8年間などの立体交差設計が報告された。この事業の進捗状況を聞きたい。

答 今後は8年間の事業期間、工事の内容、工程計画、騒音、夜間作業、付帯工事に関する影響を近隣住民を対象に今年秋以降に説明会を開催したい。

深谷市の防災・減災計画の進捗状況は

問 一昨年3月11日の東日本大震災から2年。大地震、大津波、原子力発電所事故により甚大な被害となった。これを機に防災・減災計画を聞きたい。

答 今年度、深谷市地域防災計画の改正が行われた。避難所は小中学校の体育館、公民館が主で69カ所、避難場所は市内公園等176カ所である。水道、電気、ガス等のライフラインは関係各位の連携、応援、迅速な復旧作業を



原郷上野台線

Q

緊急車両の入れない生活道路対策は

A

限られた予算の中、少しでも多くの道路整備をしていく

武井 伸一

問 特に深谷北部地域には、道路幅が狭く緊急車両が入れない生活道路があるが、生命財産を守るために整備は最少不可欠である。市の考えは。

答 市では深谷市生活道路整備の事業実施に関する要綱に基づき、各自治会から要望書を提出してもらい、その中から各自治会の最優先路線を選定してもらい、現地を調査し、緊急性や地域バランス等を考慮しながら整備を実施している。厳しい財政状況の中、整備が追い付かないのが現状だが、今後も限られた予算の中、少しでも多くの道路を整備していくために努力していく。

オープンガーデンについて

問 オープンガーデンを積極的に応援すべきではないか。特に交通機関と駐車スペースの問題を積極的に。

答 オープンガーデンマップの作成や市の交通機関とが連携し協力する。駐車スペース掲載やレンタサイクルといった巡りに有効な新規事業のPRなど利用案内のさらなる周知をしていく。

研究し、排水路の維持管理に努める。

排水路の浚渫(しゅんせつ)について

問 排水路の浚渫が進んでいないが、浚渫した汚泥処理の費用と処理方法を考えていかないと、今後の浚渫を進めていく中で支障が出るのではないか。

答 排水路に堆積した土砂は、廃棄物処理の法律による産業廃棄物に規定される。このため処分に関しては、産業廃棄物処理業者で処理してもらったため費用が高くなる。今後としても、法律の規定の中で、コストを下げる方法を



オープンガーデン

Q

産業振興条例はいつ制定するのか

A

来年度に制定したいと考えている

清水 睦

問 産業振興条例はいつ制定するのか。

答 来年度、産業振興条例の制定にあわせて産業振興計画についても策定したいと考えている。

住宅リフォーム助成制度の創設について

問 個別の地域経済活性化策として住宅リフォーム助成制度がどうしても必要である。リフォーム制度を創設して、市民の住環境の整備と、地元業者の仕事確保を行うべきであると思うが。

答 各種景気対策に資する制度等の創設については、広く市内事業者に効果が波及するものや公平性から特定の業界に偏らず市内全体の振興となる対応策を研究していく。

砂ぼこり対策について

問 砂ぼこりの現状はなかなか改善できない状況である。そこで農家に対し、飛散防止の奨励金を出す必要があるのではないか。

答 奨励金による対策を講ずることはできないと考えている。市としては引き続き対策を進めていく。



砂ぼこり

「議案あれこれ」一般質問ってなあに?」... 議案質疑とは別に議員が市の行政全般にわたり執行部側に対し自由に質問できるものです。3月議会では14人の議員が質問をしました。

一般質問記事の掲載は、通告順です。

Q 日本国のTPP交渉参加と深谷市の対応は

A 国・県と連携を図りながら進めていく

ながた 永田 かつひこ 勝彦

問 TPP（環太平洋経済連携協定）交渉による関税の撤廃や見直しと、農業の振興対策をどのように進めるのか。

答 深谷市としてはTPPの有無にかかわらず、生産、流通、販売、消費を見据えながら、企業の経営者の確保に努め、生産量の確保、品質の向上、規格の統一など、国・県の連携を図り進めていきたいと考えている。

土地改良区への支援

問 遊休農地増加により、土地改良区の果たす役割が重要である。恵まれた耕地を有する深谷市、土地改良区への支援は重要である。財政支援・人的支援今後どのように考慮されているか。

答 国や県が実施する土地改良区施設整備負担や補修等につき補助金制度を設け支援を行っている。

深谷市庁舎建設喫緊最重要課題

問 市庁舎は老朽化が激しく災害発生時危険、来庁者・市民・職員の安寧を図るべく即刻、議論を進めるべき。

答 課題が多い庁舎、市議会・執行部



懸垂幕

Q 法令解釈権が自治体に移った

A 自治法・公務員法は技術的助言。条例で自主的に決定

かとう 加藤 あつこ 温子

問 公務員給与7.8%削減要請とは。平成24年・25年国家公務員の給与削減支給措置を踏まえての要請である。

問 深谷市のラスバイレス指数と給与削減7.8%の関連と市の状況は。

答 深谷市24年の参考値は98.3で国より低い。国の7.8%削減で106.3となる。国に近い数値を要請。

問 地方公共団体の給料、職員数削減の行革努力を反映、施策と市の現況は。

答 地域の元気づくり事業費として、普通交付税で措置。地域の防災・減災に活用。市は平成19年定員適正化計画策定により、25年度目標数922人より25人少ない897人に削減、達成率115%となる。

国の要請と地方分権、市の見解は。

答 国の要請の主旨は十分理解する。深谷市の給与は県下でも低い。ラスバイレス指数も低かった。職員のモチベーション、組合との関係もある。慎重に検討する。

市民の声

問 ふっかちゃん活用でPRと歓迎を。農産物段ボール箱13種類、結束



からくり時計

テープ・PRシール等17種類に使用。今後、色々な場面での使用を働きかける。また、駅前はからくり時計で、中家は栄一翁のパネルで歓迎。電線地中化の地上機器壁面にふっかちゃんシール添付。

問 市民大学卒業生を市事業及び公民館事業に「支援隊」とし組織化、参画活用と位置づけを。

答 アンケート・意識調査でボランティア活動へのニーズを把握、活用考慮。

Q AED普及促進計画を策定し、政策的に取り組みべきでは

A 平成25年度中に策定しAED普及に努める

ごま 五間くみ子

問 AEDの設置促進・普及啓発を図るため、来年度に普及促進計画を策定とのことだが、設置台数等見直しは。

答 AEDをより有効に利用できることを考え、どこに置くかは検討したい。

問 深谷市版設置マップを作っては。

答 民間の設置状況の確認等進める中で、公表可能な施設を公共施設と合わせAED設置マップとしていきたい。

投票率向上にどう取り組む

問 埼玉県選挙管理委員会の報告書を活用し、投票率向上に積極的に取り組むべきであり、期日前投票所の期間の見直し、場所の増設（例えば大型商業施設など）等検討すべきでは。

答 キララ上柴のLフォルテ会議室が期日前投票所を開設できる環境にあり、実施に向け検討していく。

問 期日前投票の宣誓書を、事前記入できるように工夫をすべきではないか。

答 有権者の利便性向上になることから市ホームページからのダウンロードについて早期実施に向け取り組む。



AED設置

Q 自主財源確保に戦略的取り組みを

A 地方分権に耐えうる財政を目指す

たじま 田島 のぶよし 信吉

問 平成25年度一般会計予算の歳入財源のうち、自主財源が50%を割り込んだ、自主財源の中核である市税の歳入に占める割合は36.4%である。地方分権等が進み、自立した市として今後

は、依存財源に頼れない財政運営が迫られている。特にリーマンショック以降、税収の低い水準が続いている。今後の市税や借入金である合併特例債を含め財政の見通しとその要因等を聞きたい。

答 景気の後退や隣接他市に比較し、第一次産業従事者が多く、第三次産業従事者が少ないことも市税の額等に影響を受けている。景気の急な回復も難しいと考えられ税収の早急な改善も見込めない。合併に伴う優遇措置も縮小されていく状態が続く財政は厳しい状態にある。特例債は有利な借入金であるが限られたものであり慎重に事業を選択し有効活用を行う。

自主財源の確保方策確立を

問 自主財源の占める率の向上や市税の低い現状を改善し、自ら判断し実行



深谷市役所

「議会あれこれ」議員も熱が入ります！・・・3月議会の一般質問は3日間。延べ95人の方が傍聴にいらしていました。

Q 集会所敷地の貸付料算定基準の見直しを

A 基準は変更できないが、状況に応じて減免など検討する

しみず 清水 おさむ 修

問 集会所敷地を自治会館敷地として貸付する場合と比べ、民間・非営利団体への貸付は貸付料が五倍にもなってしまう。算定基準の見直しを。

答 基準は変更できないが、事業内容など状況に応じて減免など検討する。

学校給食の無料化を

問 給食費は有償という中で最近、給食費への補助が全国で広まり始めている。子育て支援の一環として給食を無料にし、若い人の定住による地域の活性化を。また、若い世代の定住策推進や地産地消による給食費の負担軽減は、市長の三年前の選挙公約である。



直しの参考にすべきだ。公益に資する団体は市行政の代行や補完等の機能を有し、まちづくりの大きな役割を担っている。補助金の復活を。

答 この間、行った補助金見直しの影響や成果について十分な検証を行う。

補助金の復活を

問 平成22年度の補助金見直し方針が補助金削減先でありきでないとするれば、補助金交付団体の新規参入がなかったことについて、平成25年度の見

Q 平成24年度補正予算成立を受けて深谷市での活用及び取り組み方は？

A 貴重な財源であることから交付金限度額まで積極的に活用する

みたべつねあき 三田部 恒明

問 「防災・安全交付金」「地域の元氣臨時交付金」の活用・取り組みは。

答 「防災・安全交付金」は本議会で補正を上程予定。「元氣臨時交付金」については積極的に限度額上限まで活用する。

通学路緊急合同点検の結果の公表を

問 小学校のみならず幼稚園・保育園・中学校単位まで公表していく。

公文書管理法施行後の管理見直しは

問 文書等取扱規程に基づき、かつ法律の趣旨にのっとり、適正文書管理に努め、必要な施策を実施していく。

地域支えあいマップ作成について

問 大きな課題が個人情報保護であり、独自に目的に特化した条例は？

答 要援護者名簿を災害時だけではなく平常時の見守り等にも活用する。マップに記載される方の事前同意を原則とし個人情報保護上の問題は無い。

自然エネルギー対策・屋根貸し事業

問 新エネルギー政策等検討プロジェクト



地域支えあいマップ研修会

Q 使用済み小型家電の回収を実施すべきではないのか？

A 最適な方法を研究し、回収の実施を検討していく

なかや ひさこ 中矢 寿子

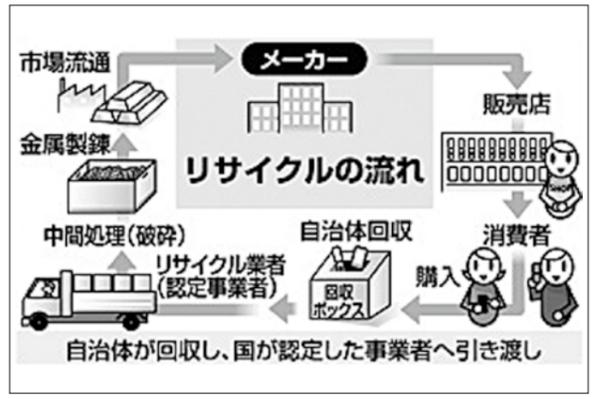
問 平成25年度から施行の「小型家電リサイクル法」に対する深谷市の取り組み状況はどうか？

答 現在、使用済み小型家電を「粗大ごみ」及び「燃やせないゴミ」として収集し、大里広域市町村圏組合大里クリーンセンターに持ち込み、処分している。

空き地・空き家の対策について

問 今後増え続けると思われる、不適切な管理の空き地・空き家に対して、条例の制定により保護すべきではないか？

答 再資源化を図ることは、最終処分量の減少や資源の確保、環境への負荷が低減し、重要な課題と考えている。制度への参加に向けて、大里広域と協議、調整を進めていく。



小型家電リサイクルの流れ

人事案件

深谷市公平委員会委員に

梅村 進氏

梅村進氏の任期が平成25年3月30日に満了となるため、引き続き同氏を選任することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の選任に同意しました。

深谷市固定資産評価員に

竹内 章公氏

平成25年4月1日付けの深谷市職員の人事異動に伴い、深谷市固定資産評価員新船昇氏の後任として竹内章公氏を選任することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の選任に同意しました。

深谷市固定資産評価審査委員会委員に

飯塚 光男氏

飯塚光男氏の任期が平成25年3月30日に満了となるため、引き続き同氏を選任することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の選任に同意しました。

深谷市行政監察員に

南雲 芳夫氏

南雲芳夫氏の任期が平成25年3月31日に満了となるため、引き続き同氏に委嘱することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の選任に同意しました。

深谷市教育委員会委員に

井上美佐子氏

深谷市教育委員会委員柿澤俊雄氏の任期が平成25年3月31日に満了となりました。このため、後任として井上美佐子氏を任命することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の任命に同意しました。

深谷市人権擁護委員に

今井 照子氏

深谷市人権擁護委員松本健治氏の任期が平成25年6月30日に満了となるため、後任として今井照子氏を推薦することに異議ない旨回答しました。



「議会だより」はホームページでも見られます。…市のホームページを開き、「深谷市議会」、「市議会だより」(PDF版)の順にクリックしてください。創刊号から今号までご覧いただけます。

副市長
定数条例の改正

提案理由では河村副市長は国土交通省からの依頼で戻ることだが、代わりを補充することは考えなかったのか。
答 特に考えていない。今は一人体制ということをお願ひするものである。

消防団
条例の改正

問 今回の改定では、報酬と費用弁償とも一律二千万円の増額となるが、その金額の根拠は。
答 消防団員の処遇改善を図るために改定をした。埼玉県の67消防団の平均と比較し、その差を埋めるため今回の額となった。



市営住宅
管理条例の改正

問 条例の中に外壁等にエネルギーの効率を図るための措置をしていくとあるが、今回条例化された住宅基準に合わせ改修していくのか。
答 今回の条例改正は、一括法に伴い、国で定めたものを、市条例で規定するものである。今後、新たに作っていくものは条例のとおりとしていく。また、改修する際にもその基準としていく。



財産の無償譲渡
(集会所)

問 集会所の土地は有償で貸すことだが、もし、無償譲渡した場合、固定資産税額と土地代として徴収される額の違いは。
答 土地の貸付料は市の普通財産貸付料算定基準により定めている。固定資産税については自治会移行となり減免申請すると思われる。額については、現段階では分からない。

問 年間の維持管理費は。平均して9万円程度である。土地の貸付料と合わせて年間10万円から20万円程度で運営できると考えている。
答 無償譲渡する集会所の国庫補助金の返還はあるのか。
答 返還はない。

議員全員協議会

議決案件ではないが、行政運営上重要な件に対して議長が招集し市側が報告する会議。3月議会終了後に開催された会議の主な内容を掲載します。

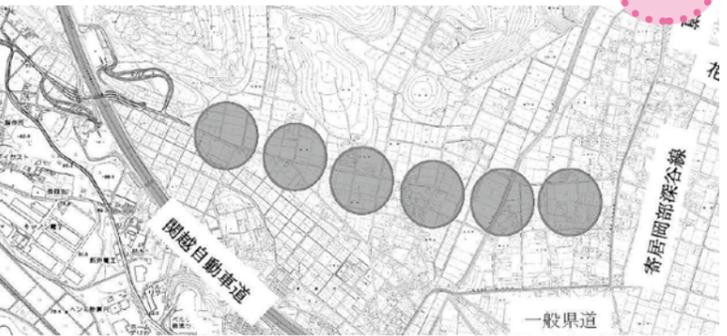
深谷市
防災計画の改正

東日本大震災の発生により、全国的に災害対策の在り方が大きな課題となり、より実効性のある計画が求められ今回の改正に至った。主な変更点は、地震、風水害、事故災害、資料編に分冊された。また「自助・共助・公助」の考え方のもと、それぞれが機能していく重要性が加えられ、先の大震災で問題となった点も加えられた。

- ①日常的に使用して不足しやすいものや、乳児用のミルク、女性に配慮した物資、プライバシー確保に関する備品等の供給検討を行う。
- ②石油類燃料等の確保について、円滑な調達のため協定の締結等努める。
- ③帰宅困難者対策等。

(仮称) 寄居PAスマートインターチェンジ
深谷市方面アクセス道路

- 開通予定：平成28年10月(スマートICと同時)
- 工期：平成26年度から平成28年度
- 車道幅員：7.5m (1車線の幅員3.0m)
- 歩道幅員：2.5m
- 全幅員：10.0m



公共施設の在り方
(仮称) 市民会議で検討

公共施設の在り方に関する事前協議会(全4回)が終了し、協議内容は報告書としてまとめられた。この報告書は決定事項ではないものの、これらについて、市民を交えた協議の場で協議・検討する際、参考資料として引き継がれる。

平成25年度新規事業
公共施設の在り方検討事業
●(仮称)市民会議の開催
開催期間 平成25年8月から平成26年3月に6回程度
メンバー構成 25人以内
報酬等 なし・会議は公開
●「アクションプラン策定」の検討支援業務を委託

主な行事 (平成25年1月～3月)

Table with columns for 1月, 2月, 3月 and rows for dates and event content. Includes photos of various facilities and events.

3月定例会 議案に対する各議員の賛否

Table showing the approval status of various bills by different council members. Columns include member names and bill names.



6月定例会の日程のお知らせ 6月3日▶6月21日

平成25年6月定例会は次の日程で午前9時から開催する予定です。

6月 3日(月)	開会・議案説明
4日(火)	議案説明
6日(木)	議案質疑
7日(金)	//
10日(月)	市民産業委員会
11日(火)	福祉文教委員会
12日(水)	環境都市委員会
13日(木)	総務委員会
17日(月)	一般質問
18日(火)	//
19日(水)	//
21日(金)	討論・採決・閉会

※日程は変更になる場合があります。詳しい内容は議会事務局（市役所3階）までお問い合わせください。

- TEL 048 (574) 6662
- FAX 048 (574) 6673

**議会インター
ネット配信**
議会中の
生中継・録画配信

編集委員会

委員長	石川 克正
副委員長	五間 くみ子
委員	加藤 温子
清水 修	
高田 博之	
田嶋 均	
為谷 剛	
中矢 寿子	
三田 恒明	
村川 浩	

ボランティアさん紹介

ここでは市内で活動されているボランティアさんを紹介しています。

「本郷小学校読み聞かせサークル・さくらブック」 のみなさん



今年「発足15周年」です。私たちも読み聞かせを通して成長し、20年30年と長くボランティア活動を続けていきたいと思っています。

本郷小学校読み聞かせサークル
さくらブック代表 **山本佐智代**
現在14名で水曜日の朝8時15分から、本郷小学校1〜3年生とたんぽぽ・すみれ学級を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせを実施しています。発足は平成10年7月、当時のPTA会長の発案により、旧岡部地区初の読み聞かせボランティアの活動を開始。当初は活動困難な時期もありましたが、今では地域の方や保護者の他、学校の先生も参加し現在に至っています。

【表紙の写真】



川本公民館事業計画の中に「世代間交流事業」があります。ふるさとの行事を傳承し、世代間の交流をはかっているとのこと。表紙の写真は昨年5月に開催された「ふるさと子どもまつり」の様子です。7月には「七夕まつり」、11月には「十日夜（とおかみや）」、1月には「まゆ玉づくり」を行っています。

編集後記



3月議会は深谷市の予算を審議する大切な議会です。

全ての事業を詳しく精査するべきでしょうが、数が多くてなかなかそうもいきません。

そこで気になる事業に関して、担当者に話を聞くと関わった人の熱い思いが伝わって来ることがあります。そういった思いが深谷市の未来を切り開く原動力になると感じました。

表面的な事だけにとらわれないうちの中身の議会にしていきたいと思います。

村川 徳浩